

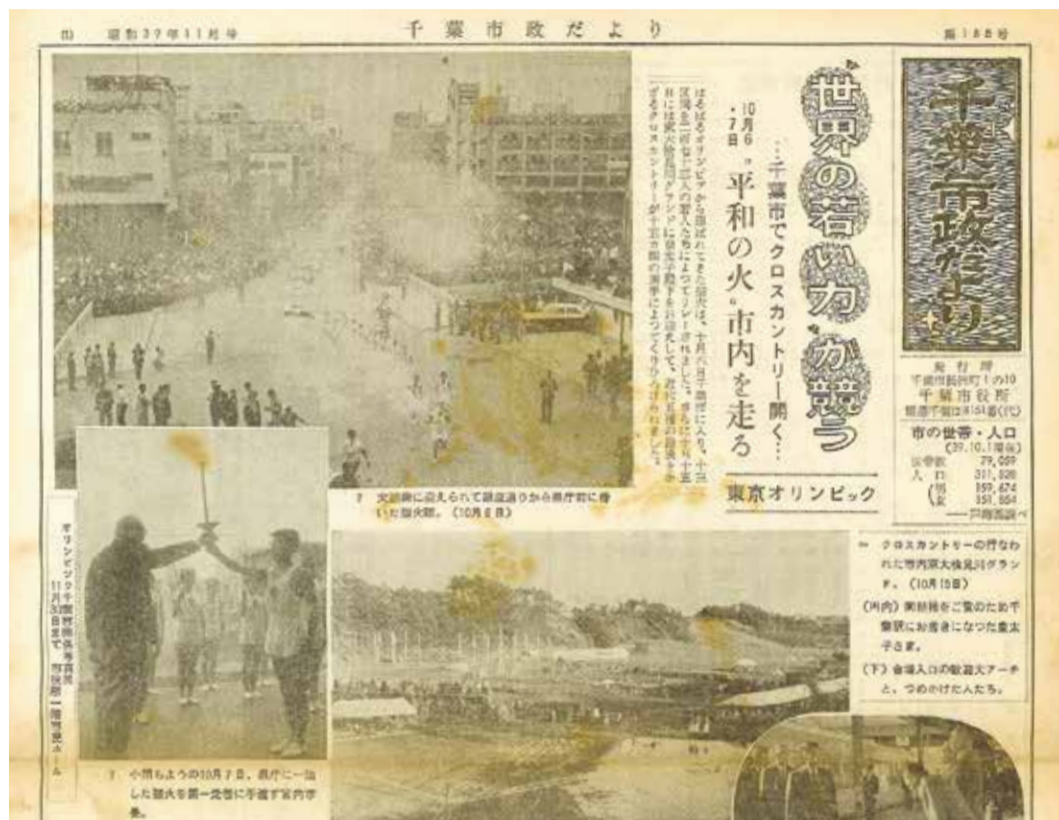


もっと知ろう

オリンピック・パラリンピックのことをもっと知って、より大会を楽しみましょう。

東京1964大会、千葉市でも行われました

1964年10月に開催された東京オリンピックでは、市内を聖火リレーが駆け抜け、東京大学検見川総合運動場（花見川区花園町）を会場に近代五種競技のうち、クロスカントリーが行われました。



当時の市政だよりでも大きく取り上げました。

大会の思い出～私の宝物～

千葉女子高校2年生だった藤田公子さん（美浜区在住）は、東京1964大会で聖火リレーの伴走を務め、稲毛浅間神社付近を走りました。



宝物の記念写真と

「沿道からたくさんの声援を送られ、とてもうれしかった」と懐かしそうに当時を振り返ります。



ユニフォーム姿の藤田さん

アルバムを見ると、モノクロ写真が多い中、ともに伴走者だった学友との写真はなぜかカラー。先生が記念に撮影してくれたもので、大切な宝物とのことでした。

東京2020大会にもCity Cast Chiba（都市ボランティア）として参加する藤田さん。新しい宝物が、この夏また一つ増えそうです。

知っていましたか？メダルのデザインのこと

オリンピックメダル



Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

夏季大会のオリンピックメダルの表面は、「ギリシャのパナシナイコスタジアムに立つ勝利の女神ニケ像」と決められています。ただし、各大会でデザインは異なります。

メダルの裏面は、大会ごとにデザインが異なります。東京2020オリンピックメダルのデザインテーマは、原石を磨くような「光と輝き」です。

パラリンピックメダル

東京2020パラリンピックメダルのデザインは、人々の心を束ね、世界に新たな風を吹き込む扇がモチーフです。表面には、Tokyo 2020の文字が点字でも表記されています。



Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI



Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

大会史上初！メダル側面のくぼみ

各メダルの違いが触れてわかるよう、金は1つ、銀は2つ、銅は3つの円形のくぼみが、メダル側面に施されています。

各競技会場には会場カラーがあります

東京2020大会では、大会ルックと呼ばれる統一したデザインを用いて各競技会場が装飾され、会場ごとにカラーが異なります。幕張メッセは紅（くれない）カラーで装飾されます。



紅カラー

もっともっと知りたい方はホームページをチェック！

市の大会特設サイトでは、市内で行われる競技やイベントの情報などを紹介しています。



千葉市 東京2020 🔍

東京2020組織委員会のホームページでは、オリンピック・パラリンピックの歴史や各競技の見どころなどを紹介しています。



東京2020 🔍